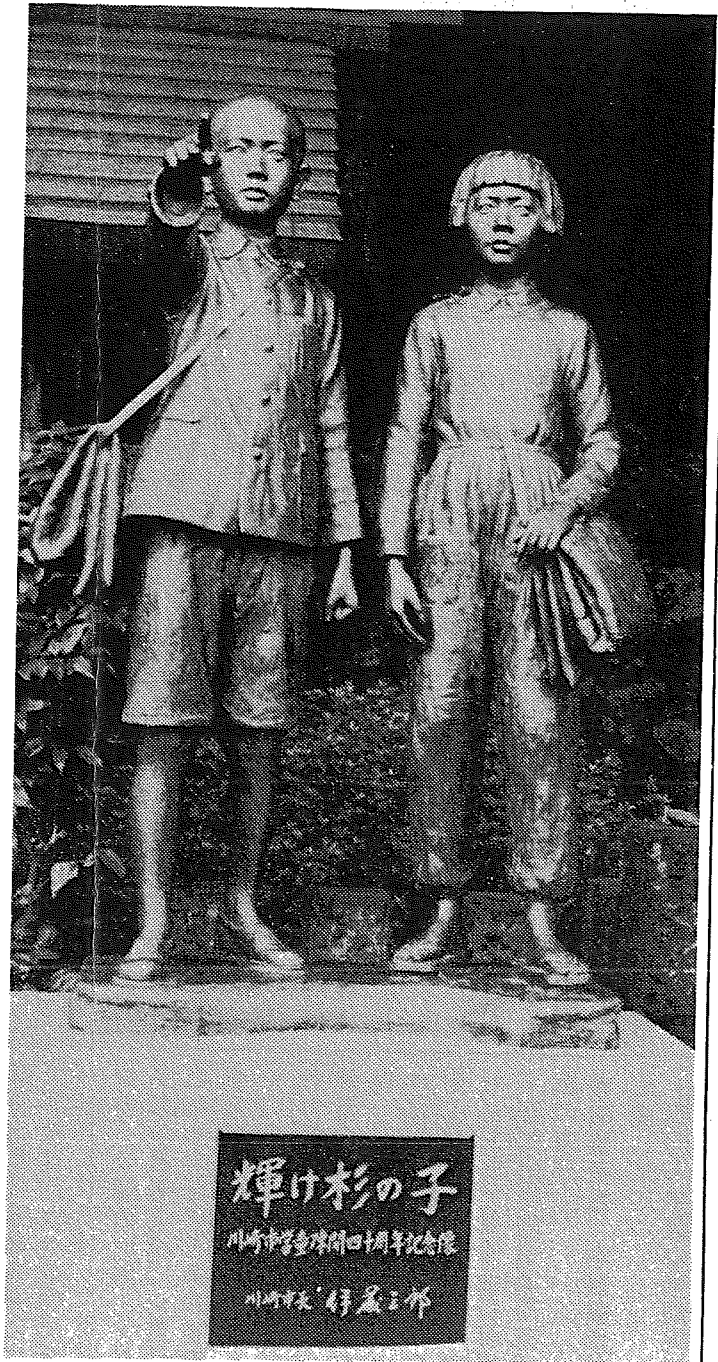


学童疎開記念像

「輝け杉の子」除幕

八月十二日 大山阿夫利神社にて  
一、五〇〇名参加 地元も大歓迎



寄付金 1,000万円突破！ 事業さらに進む。

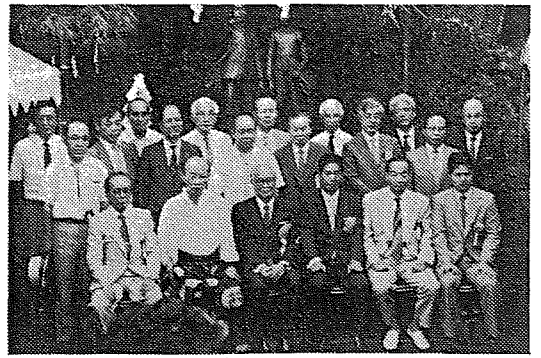
- 個人 6,461,739円 (約2,150件)
- 団体 1,480,000円 (教文研100万のほか、校長会・管組・教弘済)
- 分会 2,088,501円
- 計 10,030,240円

85. 9. 3 現在

# 大山の記念碑 碑文(全文)

## 右側面

学童疎開は昭和一九年六月三〇日に閣議決定  
国民学校初等科三、六年生について実施された。  
川崎市は中・南部二四校の集団疎開先を中郡  
一四か町村(一部、川崎西北部・津久井郡)に  
決定、七一〇〇余名の該当児童のうち、その三  
二〇〇余名をこの大山に疎開させた。すなわち  
平間・向・富士見・旭町・玉川・宮前・御幸・  
大師・住吉の九校の児童は同年八月二一、二四  
日の間に川崎を出発、翌年一〇月、終戦による  
疎開解散に至るまでこの地で疎開生活を送った。  
この像は、名状し難い困苦の中から祖国の再  
建を期する当時の幼い子らの姿を現し、困難な  
中で引き受けられた全地域の方々への感謝と、  
平和への誓いをこめて、当時の児童教職員、現



前列右より製作者圓鐔氏、坂東  
実行委員長、永井伊勢原市長、伊  
藤川崎市長、目黒阿夫利神社宮司、  
大山事務局長。後ろは各団体の代  
表者。



除幕ののち、参加者全体で“お  
山の杉の子”を斉唱するかつての  
児童と教職員たち。涙ぐみ、だき  
合う姿も。苦しい思い出の中から  
二度とくり返さない平和の誓いを。



式に参列した、ただ1人爆死し  
た米須清博君の母・兄・妹のみな  
さん。当時の事を覚えている地元  
の方々からも声をかけられました。

教職員、一般市民、そして川崎市の協力によつ  
て疎開解散四〇周年を記念して建立した。製作  
者は圓鐔元規氏である。最後に、当地で爆死し  
た米須清博君の霊の安からんことを切に祈る。  
昭和六〇(一九八五)年八月一五日  
川崎市学童疎開記念碑建設実行委員会

## 左側面

大山地区をのぞいた中郡には、次の各地に九  
校、二三〇〇余名が疎開した。  
大田村——南河原校 旭・金田村——日吉校  
神田村——田島校 比々多村——幸町校 岡  
崎・金目村——川崎校 豊田・城島村——新  
町校 成瀬・相川村——前沼校 伊勢原町——  
川中島校 高部屋村——高津校

## 現在のとりくみ

八月から記念誌の編集委  
員会を精力的に開催してい  
ます。  
新たな資料の発掘や当時  
の写真の寄贈などもあり、  
内容の豊かな本格的冊子が  
出来そうです。  
川崎枳形山の除幕式は議  
会の都合上十月中旬になり  
そう。改めて分会にご連絡  
します。